

令和3（2021）年さけます来遊状況（第4報：11/30 現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

- カラフトマスは奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられており、本年は「奇数年級」にあたる
- 来遊数は76万尾〔前年同期比：16%、令和元（2019）年同期比：70%、平年*1 同期比：11%〕で、平成元（1989）年以降で最も少ない
- 全道で1億1,432万粒の種卵を確保

*1：平年とは、平成元（1989） - 令和元（2019）年の奇数年の平均値

本年度の北海道のカラフトマス来遊数は76万尾〔前年同期比：16%、令和元（2019）年同期比：70%、平年同期比：11%〕となりました。

カラフトマスは2年で回帰するため、奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられます。本年は奇数年級にあたり、その来遊数は平成19（2007）年以降減少しています。11月30日現在の来遊数は76万尾で、平成元（1989）年以降で最も少なくなりました（表1および図1）。

表1. カラフトマス来遊数(北海道)

来遊年		11/30 現在(最終)	来遊年		11/30 現在(最終)
2008(H20)		704	2009(H21)		1,111
2010(H22)		731	2011(H23)		553
2012(H24)		221	2013(H25)		325
2014(H26)		158	2015(H27)		210
2016(H28)		890	2017(H29)		123
2018(H30)		683	2019(R1)		109
2020(R2)		473	2021(R3)		76
			平年		674

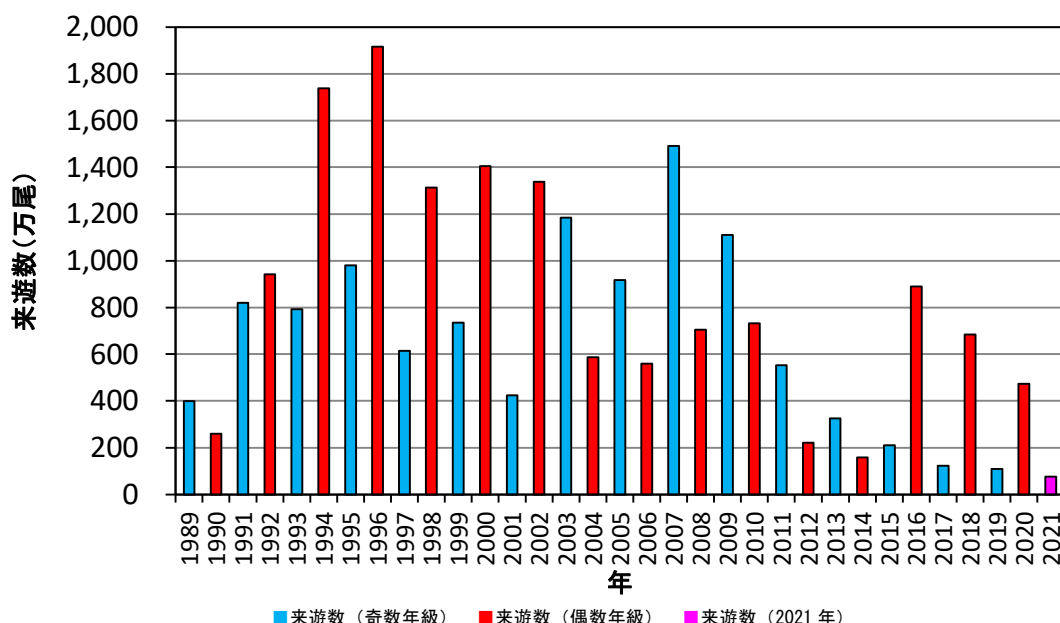


図1. 7月1日～11月30日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2021年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では74万尾〔前年同期比：17%、令和元（2019）年同期比：71%、平年同期比：13%〕、太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では2万尾〔前年同期比：7%、令和元（2019）年同期比：49%、平年同期比3%〕と、両地域ともに平成元（1989）年以降で最も少ない来遊数となりました。

河川捕獲数は、21万尾〔前年同期：29%、令和元（2019）年同期比：95%、平年同期：30%〕と同じ繁殖集団と考えられる奇数年級の平年を下回りました（表2）。

採卵数については1億1,432万粒で前年同期の80%を確保しました。これは令和3年度の採卵計画数1億7,320万粒の66%にあたり、日本海側で計画数の94%、太平洋側でも計画数を大きく下回ったため、全体として採卵計画数を下回りました。

表2. カラフトマス河川捕獲数(北海道)

単位：万尾

来遊年	11/30 現在(最終)	来遊年	11/30 現在(最終)
2008(H20)	92	2009(H21)	131
2010(H22)	87	2011(H23)	59
2012(H24)	26	2013(H25)	48
2014(H26)	26	2015(H27)	24
2016(H28)	76	2017(H29)	18
2018(H30)	92	2019(R1)	22
2020(R2)	73	2021(R3)	21
		平年	69